2014 年度秋学期　地域別・国別　日本語科目登録者数

		学部			大学院			日本語教育研究センター							合計	前年度合計	増減
		正規生	科目等履修生	計	正規生	科目等履修生	計	正規生				科目等履修生	聴講生	計			
								一般	国費	交換	委託						
アジア	中国	342	29	371	78	65	143	164	2	2	3			171	685	593	92
	韓国	272	12	284	5	6	11	2	5		4			11	306	316	▲10
	台湾	115	8	123	29	13	42	67		3	1			71	236	200	36
	日本	169	11	180	2	1	3	4		4				8	191	160	31
	タイ	8	3	11	20	12	32	10		1				11	54	40	14
	シンガポール	22	4	26	2		2	3	1	1				5	33	30	3
	インドネシア	14	5	19	7		7							0	26	29	▲3
	ベトナム	5		5	7	3	10	3		1				4	19	14	5
	カンボジア			0	1	1	2							0	2	6	▲4
	マレーシア	8	4	12	3	1	4	1	1					2	18	14	4
	香港	6	2	8	1	1	2	9	1	1				11	21	16	5
	ウズベキスタン	1		1	1		1							0	2	3	▲1
	インド	4		4	1		1			1				1	6	5	1
	フィリピン	2	3	5	1	1	2	2						2	9	6	3
	モンゴル	1		1	1	2	3							0	4	3	1
	パキスタン		2	2	1		1							0	3	3	0
	ネパール	3		3			0							0	3	1	2
	ブルネイ		3	3			0							0	3	1	2
	バングラディッシュ			0			0							0	0	1	▲1
	カザフスタン			0			0							0	0	1	▲1
	スリランカ		1	1			0	1						1	2	2	0
	ラオス	1		1			0							0	1	0	1
中東	アフガニスタン	1		1	2		2							0	3	0	3
	イスラエル	1		1			0			3				3	4	3	1
	トルコ	1	1	2	1		1							0	3	2	1
	シリア			0			0							0	0	1	▲1
	イラン			0			0							0	0	1	▲1
	サウジアラビア			0			0							0	0	1	▲1
	イラク			0			0							0	0	1	▲1
	バーレーン			0	1		1							0	1	0	1
	レバノン			0	1		1							0	1	1	0
	カタール	1		1			0							0	1	0	1
オセアニ	オーストラリア	4	3	7		1	1	6		2				8	16	16	0
	ニュージーランド	1		1		1	1	1		2				3	5	3	2
	パラオ			0		1	1							0	1	0	1
アフリカ	エチオピア			0		1	1							0	1	0	1
	エジプト			0			0							0	0	2	▲2
	ガーナ	1		1			0							0	1	0	1
	ギニア			0	1		1							0	1	1	0
	リビア			0	1		1							0	1	0	1
	モロッコ	1		1			0							0	1	1	0
	セネガル	1		1		1	1							0	2	0	2
	ソマリア	2		2			0							0	2	1	1
	トーゴ			0		1	1							0	1	1	0
	ウガンダ			0			0							0	0	1	▲1
	アンゴラ			0			0							0	0	1	▲1
	チュニジア			0		1	1							0	1	1	0
ヨーロッパ	フランス	8	15	23	2	4	6	3		6				9	38	26	12
	ドイツ	2	5	7	3	8	11	1	1	11				13	31	25	6
	イギリス	4	9	13		1	1	3	1	11				15	29	20	9
	イタリア	1	5	6	2	3	5	4		4				8	19	13	6
	ロシア	1		1		1	1	1		5				6	8	14	▲6
	デンマーク		9	9	1		1							0	10	9	1
	スウェーデン	4	3	7			0		1	2				3	10	10	0
	スペイン		9	9	2	1	3	2						2	14	5	9
	オランダ	1	5	6			0							0	6	5	1
	スイス	1	3	4			0	1		1				2	6	6	0
	ポーランド			0	1		1							0	1	4	▲3
	オーストリア			0		1	1							0	1	1	0
	スロバキア			0			0		1					1	1	0	1
	コソボ			0			0							0	0	1	▲1
	ハンガリー	1		1			0		1					1	2	1	1
	フィンランド	1		1		1	1			2				2	4	4	0
	ベルギー			0	1	1	2							0	2	1	1
	アイスランド		1	1			0		1					1	2	1	1
	アイルランド			0			0							0	0	2	▲2
	エストニア			0		1	1			1				1	2	2	0
	ブルガリア			0		2	2	1	1					2	4	2	2
	ポルトガル			0		1	1			1				1	2	2	0
	リトアニア		1	1			0		1					1	2	2	0
	ラトビア			0			0		1	1				1	1	1	0
	ルーマニア	1	1	2			0		1	1				2	4	2	2
	ウクライナ			0	1		1							0	1	1	0
	ギリシア			0	1		1							0	1	2	▲1
	チェコ	1		1			0			1				1	2	2	0
	アゼルバイジャン			0			0							0	0	2	▲2
	ノルウェー	2	2	4			0	1		5				6	10	7	3
	セルビア			0			0							0	0	1	▲1
	アルバニア			0			0							0	0	1	▲1
	ベラルーシ			0			0			1				1	1	1	0
北米	アメリカ	31	75	106	10	5	15	8	1	8	2			19	140	121	19
	カナダ	9	14	23	2	1	3	3		4				7	33	18	15
中南米	メキシコ	1		1			0							0	1	6	▲5
	ブラジル	1	26	27			0	1	1					2	29	5	24
	ベネズエラ	1		1		2	2							0	3	3	0
	チリ	1		1			0							0	1	1	0
	グレナダ			0		1	1							0	1	0	1
	ボリビア			0			0							0	0	1	▲1
	ニガラグア			0			0							0	0	1	▲1
	ハイチ	2		2			0							0	2	2	0
	エルサルバドル			0	1		1							0	1	1	0
	ペルー	2	1	3	2	1	3							0	6	2	4
合計		1,063	275	1,338	196	148	344	302	22	86	10	0	0	419	2,101	1,819	282

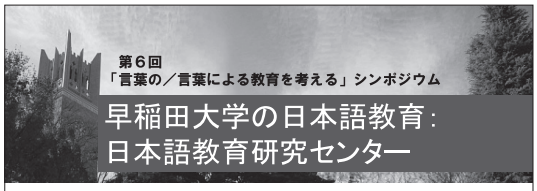
※参考：2014 年度春学期　1,913 名

2014 年度秋学期　所属別　日本語科目登録者数

箇所名称	学生数		
	2014 年秋	2013 年秋	増減
政治経済学部	191	123	68
法学部	10	8	2
教育学部	26	21	5
商学部	29	24	5
社会科学部	54	52	2
人間科学部	8	10	▲ 2
スポーツ科学部	14	13	1
国際教養学部（ＳＰ２・ＳＰ４）※	600	584	16
国際教養学部（ＳＰ３）※	194	148	46
文化構想学部	28	22	6
文学部	23	13	10
基幹理工学部	55	31	24
創造理工学部	65	47	18
先進理工学部	43	23	20
大学院政治学研究科	14	15	▲ 1
大学院経済学研究科	20	24	▲ 4
大学院法学研究科	12	10	2
大学院文学研究科	11	8	3
大学院商学研究科	76	61	15
大学院教育学研究科	1	8	▲ 7
大学院人間科学研究科	4	2	2
大学院社会科学研究科	8	24	▲ 16
大学院アジア太平洋研究科	62	61	1
大学院国際情報通信研究科	14	22	▲ 8
大学院日本語教育研究科	11	11	0
大学院ファイナンス研究科	8	6	2
大学院法務研究科	5	7	▲ 2
大学院会計研究科	0	2	▲ 2
大学院スポーツ科学研究科	10	5	5
大学院基幹理工学研究科	15	13	2
大学院創造理工学研究科	31	33	▲ 2
大学院先進理工学研究科	11	13	▲ 2
大学院環境・エネルギー研究科	2	2	0
大学院国際コミュニケーション研究科	27	18	9
日本語教育研究センター	409	343	66
留学センター	10	12	▲ 2
合計	2,101	1,819	282

※ SP2-4 は Study Program2-4 の略。

「第６回　言葉の／言葉による教育を考える」シンポジウム



日本語教育研究センター
所長，兼任センター員（日本語教育研究科・教授）
小林　ミナ（こばやし　みな）

2014年6月24日（火）
18:10-20:10
於・小野記念講堂

本日の流れ

1. 趣旨説明	小林　ミナ
2. 日本語教育研究センターの概要	小宮千鶴子
3. 総合科目群	田川　恭識
4. テーマ科目群	宮崎　七湖
5. 日本語教育学副専攻	木下　直子
6. わせだ日本語サポート	黒田　史彦
7. パネルディスカッション	

2

趣旨説明

- 早稲田大学において「外国語としての日本語」の教育は，どのように展開しているのか。
- 学内の日本語教育を一元的に担っている日本語教育研究センター（以下，CJL）とは，どのような組織で何をしているのか。

3

CJLの使命

（1）外国人留学生が日本語で生きていく力を育む。

（2）日本語教育の専門家集団として，全学の教育カリキュラムに貢献する。

4

早稲田大学の外国人留学生

- 外国人留学生　4697名（2013/11/1）
- 日本語科目履修者　1819名（2013年秋学期）

↓ 所属は？

5

日本語科目履修者1819名の所属は？

CJL　343名　(18.9%)
学部　1119名　(61.5%)　大学院　345名(19.0%)

国際教養学部	732名
（SP2・SP4	584名）
（SP3	148名）
政治経済学部	123名
社会科学部	52名
創造理工学部	47名
基幹理工学部	31名
商学部	24名
先進理工学部	23名
文化構想学部	22名
教育学部	21名
スポーツ科学部	13名
文学部	13名
人間科学部	10名
法学部	8名
合計	1119名

アジア太平洋／商学研究科	各61名
創造理工学研究科	33名
経済学／社会科学研究科	各24名
国際情報通信研究科	22名
国際コミュニケーション研究科	18名
政治学研究科	15名
基幹理工学／先進理工学研究科	各13名
日本語教育研究科	11名
法学研究科	10名
教育学／文学研究科	各 8名
法務研究科	7名
ファイナンス研究科	6名
スポーツ科学研究科	5名
会計／環境エネルギー／人間科学研究科	各2名
合計	345名

留学センター　12名(0.7%)

6

早稲田大学の外国人留学生

- 外国人留学生　　4697名（2013/11/1）
- 日本語科目履修者　1819名（2013年秋学期）
  ↓　国・地域は？

7

日本語科目履修者1819名の国・地域は？

1. 中国　593名（32.6%）
2. 韓国　316名（17.4%）
3. 台湾　200名（11.0%）
4. 日本　160名（ 8.8%）
5. アメリカ　121名（ 6.7%）
6. タイ　40名（ 2.2%）

上位５位までで1390名（76.4%）

52.
｜　30の国・地域　各１名
81.

8

CJLの使命

（1）外国人留学生が日本語で生きていく力を育む。
→外国人留学生とは限らない

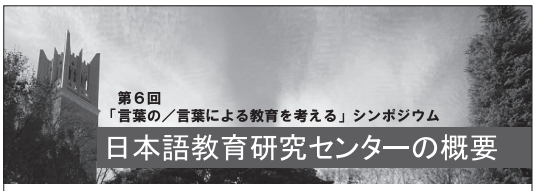
（2）日本語教育の専門家集団として，全学の教育カリキュラムに貢献する。
→日本語教育学副専攻の展開
→日本人学生に対する日本語教育

9

本日の流れ

1. 趣旨説明	小林　ミナ
2. 日本語教育研究センターの概要	小宮千鶴子
3. 総合科目群	田川　恭識
4. テーマ科目群	宮崎　七湖
5. 日本語教育学副専攻	木下　直子
6. わせだ日本語サポート	黒田　史彦
7. パネルディスカッション	

10



日本語教育研究センター
教務主任，兼任センター員（日本語教育研究科・教授）
小宮　千鶴子（こみや　ちづこ）

2014年6月24日（火）
18:10-20:10
於・小野記念講堂

本発表の流れ

- CJLの事業
- CJLの教育活動
- 日本語科目履修者のカテゴリー
- 日本語科目のカリキュラム
- CJLで教える教員
- 非常勤教員の選考
- 学習者の主体的な科目選択
- CJLにおける日本語レベル

CJLの事業

- 教育活動
- 研究活動
- 広報活動
- 学内外他箇所への協力

CJLの教育活動

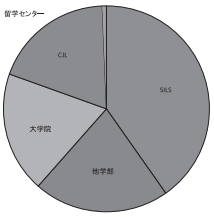
① 科目の開講
- 外国人留学生のための日本語科目
  総合科目群 ／ テーマ科目群
- 日本語教育学副専攻

② 日本語学習支援

日本語科目履修者のカテゴリー

- 日本語教育プログラム生
  （CJL所属　私費・国費・交換）
- 学部正規生　　必修 ／ 自主的履修
- 大学院正規生　　自主的履修
- 科目等履修生　　在留資格 ／ 自主的履修

日本語科目履修者の内訳



日本語科目のカリキュラム

①総合科目群　　378コマ
- 四技能をバランスよく学習。
- 定められたシラバスと教材で教える。
- 「安定性」重視　→　留学生の増加に対応

②テーマ科目群　　252コマ
- テーマに沿った特色ある学習。
- 担当教員がシラバスを作り、教える。
- 「先進性」重視　→　多様な学習目的に対応

（2013年度秋学期）

CJLで教える教員（1）

・専任教員（任期付）	6名
・非常勤講師	71名
・常勤インストラクター	9名
・非常勤インストラクター	109名
・兼任センター員（日本語教育研究科教員）	11名
計	206名

（2013年度秋学期）

CJLで教える教員（2）

◇総合科目群
- 常勤インストラクター
- 非常勤インストラクター

◇テーマ科目群
- 専任教員（任期付）
- 非常勤講師
- 兼任センター員（日本語教育研究科専任教員）

非常勤教員の選考（1）
＜非常勤インストラクター＞

①面接対象者全員に、事前に教案の提出を求める。

②応募書類や提出された教案について面接を行う。

非常勤教員の選考（2）
＜非常勤講師＞

①研究業績や教育業績などに関する書類選考の後、面接を行う。

②提出されたシラバスに関する覆面審査を行う。

★①と②の結果をふまえて採否を決定。

学習者の主体的な科目選択

・日本語のレベル判定
　Webテストを用いて、学習者が自ら行う。

・日本語科目の選択
　推奨レベルを示した科目群から、学習者が自ら選択する。

CJLにおける日本語レベル

1学期で1レベル進む。
4年間で未習者が上級に。

本日の流れ

1. 趣旨説明	小林　ミナ
2. 日本語教育研究センターの概要	小宮千鶴子
3. 総合科目群	田川　恭識
4. テーマ科目群	宮崎　七湖
5. 日本語教育学副専攻	木下　直子
6. わせだ日本語サポート	黒田　史彦
7. パネルディスカッション	

14

日本語教育研究センター
常勤インストラクター
田川　恭識（たがわ　ゆきのり）

2014年6月24日（火）
18:10-20:10
於・小野記念講堂

総合科目群の特徴

- ☐教科書が決められており、教科書を中心に4技能を学ぶ（「漢字」除く）
- ☐コーディネーター（常勤インストラクター）が作成したスケジュールに従って運営される
- ☐同じ曜日、時限に同じレベルのすべての授業が開講される

総合科目群の特徴

- ☐非常勤ンインストラクターがティームティーチングでひとつのクラスを担当する（「漢字」除く）
- ☐授業担当者は，学期の開始前、学期中、学期末に適宜打ち合わせ（レベルごと，クラスごと）を行う

・授業担当者が代わっても授業が行える
・学習者の増減にも柔軟に対応できる

総合科目群の授業

表1

	週の時間数	クラス数	クラスの教師数	定員
総合日本語1レベル	5	12	2-3人	15
総合日本語2レベル	5	18	2-3人	15
総合日本語3レベル	5	17	2-3人	20
総合日本語4レベル	5	13	2-3人	20
総合日本語5レベル	3	12	2人	20
総合日本語6レベル	3	9	2人	20

表2

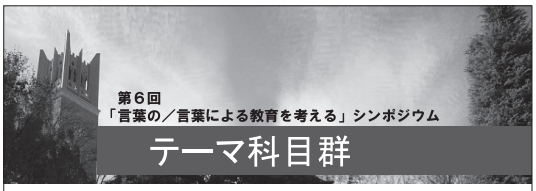
	週の時間数	クラス数	クラスの教師数	定員
総合日本語（集中）1-2	10	1	3-5人	15
総合日本語（短期）1	10	1	3-5人	15
総合日本語（短期）2	10	2	3-5人	15
総合日本語（短期）3	10	2	3-5人	20
総合日本語（短期）4	10	1	3-5人	20

総合科目群の授業

表3

	週の時間数	クラス数	クラスの教師数	定員
漢字（非漢字系学習者）1	1	4	1	15
漢字（漢字系学習者）1	1	3	1	15
漢字（非漢字系学習者）2	1	4	1	15
漢字（漢字系学習者）2	1	3	1	15
漢字3	1	5	1	20
漢字4	1	5	1	20
漢字5	1	5	1	20

※2014年春学期から開講



日本語教育研究センター
准教授（任期付）
宮崎　七湖（みやざき　ななこ）

2014年6月24日（火）
18:10-20:10
於・小野記念講堂

1. テーマ科目とは？

「会話」、「読解」といった技能をベースにした枠組みよりも、学習活動をより広く捉えて展開させるタイプの科目で、

●担当教員がシラバスをゼロから作成する

●担当教員が退職すると、その科目はなくなる

2. テーマ科目概要

●担当教員：

非常勤講師

専任教員（任期付）

兼任センター員（日本語教育研究科専任教員）

●定員：35名、あるいは、40名

●週当たりのコマ数

1コマ／週

3コマ／週　（複数の教員によるチームティーチング）

5コマ／週　（複数の教員によるチームティーチング）

3.レベル設定

●レベル1から8までの科目を開講

●担当教員自身が自由にレベルを設定

●複数レベルにまたがる科目の設定も可能

例）「現代の短編小説を読む3」（単一レベル）

「日本語で語る「自分」5-6」（2つのレベル）

「演劇プロジェクト5-8」　（4つのレベル）

4. 2013年度　テーマ科目数

科目タイプ	春学期	秋学期
1コマ／週　タイプ	229	227
3コマ／週　タイプ	5	5
5コマ／週　タイプ	2	2
合計	236	234

科目が非常に多く、学生が自分の興味や課題、学習スタイルに合った科目を選び出すのが困難

5.科目キーワードの設定

20のキーワードの中から担当教員自身が少なくとも1つ、最大3つのキーワードを選んで設定

5-1.キーワード(1)

A群：12のキーワード　技能・活動

その科目が伸ばすことを目指している技能や言語的な要素、運用力。あるいは、クラスにおいて学習者に求められる主な活動

読む	文法	調べる
書く	語彙	創作する
話す	発音	考える
聞く	漢字	
	待遇表現	

5-1.キーワード(2)

B群：8つのキーワード　トピック・素材・場面

クラス活動で扱うトピック、素材。あるいは、その場面で用いられる日本語の習得を目指している

社会・文化	生活
文学	仕事
映画・ドラマ・演芸	アカデミック
自分	理系

5-2.キーワード設定例

●「地方文化と旅行4-8」

→ 社会・文化、 話す、 調べる

●「メール・手紙を書こう5-7」

→ 書く、 待遇表現、 生活

●「日本語辞書にない日本語7-8」

→ 語彙、 社会・文化、 調べる

●「研究レポート・研究論文の基礎（実践）7-8」

→ アカデミック、 書く、 考える

5-3.キーワード別科目例（話す・初級）

ページ番号 Page	レベル Level	科目名 Course Title
144	1	日本語で　語る　わたし１ Me: Japanese-style 1
146	1	「私の年表」を日本語で語る１ Explaining My life's Journey in Japanese 1
150	1	「考えて」学ぶ日本語会話１ Think and Speak: Japanese Conversation 1
151	1	初級から話せる自分のきもち１Ａ・Ｂ Express your feelings using beginner-level Japanese 1A・B
151	1-2	「わたしのにほんご」プロジェクト１－２ "My, own Japanese" Project 1-2

p. 98

日本語科目 **登録の手引き・講義要項**

5-3.キーワード別科目例（話す・中上級～上級）

ページ番号 Page	レベル Level	科目名 Course Title
212	5	職場でのコミュニケーション５Ａ・Ｂ Communication at Workplace 5A・B
213	5	宮崎駿アニメで学ぶ日本語５Ａ・Ｂ Learning Japanese by Hayao Miyazaki Animation 5A・B
213	5	日本語で学ぶメディアリテラシー５ Leaning Media Literacy in Japanese 5
214	5	日本映画で学ぶ日本語５ Learning Japanese through Films - Think and Discuss What a Film Appeals to Us - 5
215	5-6	ボキャブラリー・ビルディング５－６ Vocabulary Building 5-6
219	5-6	コミュニケーションのための発音５－６ Pronunciation practice for communication 5-6
220	5-6	トピック・ディスカッション５－６ Topic Discussion 5-6
221	5-6	会話から発表へ５－６ Advancing from Conversation to Speeches 5-6
221	5-6	自分の意見を発表し，書く５－６ Expressing Your Opinion: Speaking & Writing 5-6

5-3.キーワード別科目例（文学・中級～上級）

4-5	短編小説を読む４－５Ａ・Ｂ Reading Japanese Short Stories 4-5A・B
4-8	日本の歌－わらべ歌から歌曲まで－４－８ Music of Japan: from nursery rhymes to lieder 4-8
5-6	多読のすすめ５－６ Extensive Reading 5-6
5-6	近現代小説を読んでみよう５－６ Introduction to Modern Literature 5-6
5-6	日本の昔話を読む５－６Ａ・Ｂ Let's Read Japanese Old Tales 5-6A・B
5-6	日本文学の名作にふれる５－６ Explore the Essence of Japanese Classic Novels 5-6
5-6	文学をからだで感じ，読み方を育てる５－６ Learning to appreciate literature with all senses 5-6
5-6	詩歌を作る・詠む５－６ Let's Enjoy and Compose Poetry: "haiku" & "tanka" 5-6
5-8	声に出して学ぶ日本語５－８ Learning Japanese: Reading Out Loud 5-8

5-3.キーワード別科目例（社会・文化・上級）

レベル Level	科目名 Course Title
6-8	ニュースを語る6－8 Discussing Current Affairs Topics 6-8
6-8	日本語で世界を考える6－8 Thinking the World in Japanese 6-8
6-8	イベント企画プロジェクト6－8 Let's Produce an Event 6-8
6-8	「Cool Japan」を考える6－8 Analyzing "Cool Japan" 6-8
6-8	伝統文化とポップカルチャーを探る6－8 Japanese Traditional Culture and Pop Culture 6-8
6-8	映画を通して考える日本の社会とことば6－8 Looking at Japanese society & language through motion pictures 6-8
6-8	流行語と日本社会6－8 Trendy Words and Japanese Society 6-8
7	読解・ディスカッション：新聞記事や雑誌記事7 Reading and Discussion: Newspaper and Magazine Articles 7
7-8	日本語辞書にない日本語7－8 Japanese Words not Found in the Dictionary 7-8
7-8	ディベカッションで学ぶ日本語7－8 Learning Japanese through "Divecussion": Discussion and Debate 7-8

5-3.キーワード別科目例（仕事・初級～中級）

レベル Level	科目名 Course Title
2	職場でのコミュニケーション2A・B Communication at Workplace 2A・B
2-3	わたしの専門とキャリア・デザイン2－3 Academic Major and Career Development Planning 2-3
3	職場でのコミュニケーション3 Communication at Workplace 3
3-4	読解ディスカッション：「働く人」を考える3－4 Reading and Discussion: People at Work 3-4

（仕事・上級）

7-8	ディベカッションで学ぶ日本語7－8 Learning Japanese through "Divecussion": Discussion and Debate 7-8
7-8	就職のための日本語7－8 Learning Japanese for Job Hunting 7-8
7-8	ビジネスコミュニケーション7－8 Business communication 7-8

5-3.キーワード別科目例（アカデミック・上級）

6-8	論理的な文章表現：レポートを書こう！6－8 Logical Writing: Let's Write Reports in Japanese 6-8
6-8	ピアで考える研究計画6－8 Peer Learning for Research Planning 6-8
7	コミュニケーションの日本語文型7（2） Japanese Sentence Patterns for Communication 7(2)
7	レポート・論文の書き方7 How to Write a Paper and Thesis 7
7	口頭発表の発音7 Pronunciation for oral presentation 7
7-8	研究レポート・研究論文の基礎（実践）7－8 Basic Research Writing Seminar 7-8
7-8	研究レポート・研究論文の基礎（表現と考え方）7－8 Introduction to Writing Research Papers : Expressions and Logical Thinking 7-8
7-8	講義理解とノート・テイキング7–8 Understanding Lecture and Note Taking: Skill and Strategy Development 7-8

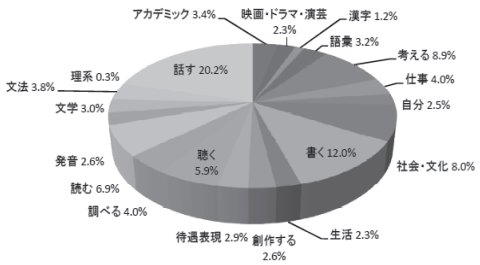
5-3.キーワード別科目例（生活・初級～初中級）

1-2	絵で学ぶ漢字1－2 Learning Kanji through Pictures 1-2
1-2	状況に応じた表現を考えて話す1－2 Appropriate expressions for various situations 1-2
2	くらしの中の日本語会話2A・B Aural-Oral: Practicing Daily Conversation and Usage 2A・B
2	困ったときの日本語会話2 Japanese Conversation: When in Trouble 2
2-3	楽しくシャベリング2－3A・B Let's Enjoy Talking 2-3A・B
2-3	状況に応じた表現を考えて話す2－3A・B Appropriate expressions for various situations 2-3A・B
2-3	日本の暮らしと行事を楽しもう2－3 Enjoying Life, Culture & Seasonal Events in Japan 2-3
2-3	写真と文で「思い出ノート」を作ろう2－3 Describing Memories through Photographs & Words 2-3
3	街・生活の中の漢字3 Kanji Encountered in the Town 3

5-3.キーワード別科目例（理系）

レベル Level	科目名 Course Title
2-3	理系日本語を学ぶ2－3 Technological Japanese: Basic Grammar and Scientific Terms 2-3
7-8	理工系学習者に役立つプレゼンテーションのための発音7－8 Useful Pronunciation for Presentations: Acquisition by Science and Technological Students 7-8

6.キーワード別科目数



7.テーマ科目設置から得られるメリット

●学習者が自己の課題や興味、学習スタイルに応じて科目を選択することができる

↓

学習者の多様性に対応

●教員の得意／専門分野を活かした、質の高い授業が提供できる

8.テーマ科目の課題

●適切な科目の選択

自分のレベルやニーズに合った科目を選択するのが難しい

●科目の偏り

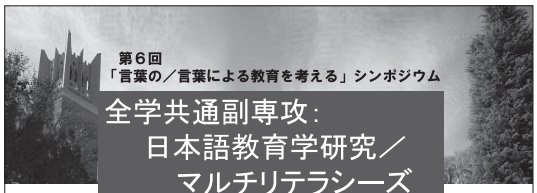
ニーズの高い科目をセンターが設置することができない

ため、履修希望者数に偏りがでてしまう

→ ある程度の枠を示した上での教員への科目募集が必要

例）レベル１～２の「漢字」「会話」科目を募集

レベル４～５の「アカデミック」科目を募集



第６回
「言葉の／言葉による教育を考える」シンポジウム

全学共通副専攻：日本語教育学研究／マルチリテラシーズ

日本語教育研究センター
准教授（任期付）
木下　直子（きのした　なおこ）

2014年6月24日（火）
18:10-20:10
於・小野記念講堂

1

「日本語教育学研究/マルチリテラシーズ」

目的：「日本語教育学を幅広く体系的に学びつつ、日本語を教えるとは どのようなことなのかを学ぶ」

2

履修モデル

履修開始時	修了時	修了後
日本語や日本語教育に興味・関心がある	日本語教育に関する体系的な知識を習得する	①海外の大学で日本語のTA ②地域の教室・学校での支援 ③大学院で専門的に研究

『2014年度全学オープン科目履修ガイド』p.186より

3

修了必要単位・開講科目数

- 修了必要単位：16単位
  コア科目4単位・選択科目12単位以上
- 2014年度春学期　13科目
  コア科目　5科目
  選択科目　8科目

4

【コア科目】　2014年度春学期開講科目
- 日本語教育学入門
- 言語政策と日本語教育（身近な外国人問題を考える）
- 敬語コミュニケーション論Ⅰ
- 日本語と中国語の対照Ⅰ
- 日本語の文章・談話Ⅰ

【選択科目】
- 「書く」ことと日本語教育
- 「移動する子ども」のことばの教育学
- 日本語学習者と文法
- リテラシーと日本語教育
- 異文化コミュニケーション論
- 海外実習
- グローバル化社会と日本語教育
- 発音習得と学習

5

日本語教育学研究学/マルチリテラシーズ
開講科目領域

6

担当教員

- 大学院日本語教育研究科
  専任教員　9名
  非常勤講師　4名
- 日本語教育研究センター
  准教授（任期付）4名

7

履修者数の変化

- 国・地域別履修者延べ数

（単位：名）

年度・学期	2013春	2013秋	2014春
日本	466	418	556
その他	130	134	233
計	596	562	789

8

副専攻・修了者数

- 修了者数（GEC・2008年度-2013年度集計データより）：

資格名	修了者数
1.「平和学」	116
2.「日本語教育学研究/マルチ…」	**109**
3.「戦略的環境研究」	92
4.「国際協力」	80
5.「コリア研究」	52

9

年度別修了者数の推移

年度
9月卒業/3月卒業
単位：名

'083	'099	'093	'109	'103	'119	'113	'129	'123	'139	'133	計
6	0	15	1	17	1	21	1	30	3	14	**109**

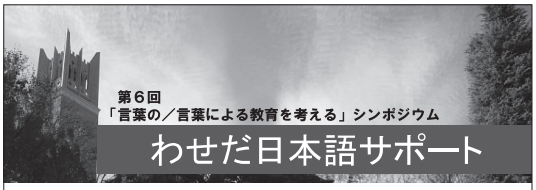
10

学習環境の変化への対応

◆留学生、帰国生、「移動する子ども」の増加
　具体例：海外での日本語教育実習
　　異文化コミュニケーション論
　　発音習得と教育
　　↓
◆留学生 ≠ 日本語教育
　日本人 ≠ 国語教育　　二項対立でない

→「言葉の教育」「言葉による教育」間の連携が求められる

11



日本語教育研究センター
准教授（任期付）
黒田　史彦（くろだ　ふみひこ）

2014年6月24日（火）
18:10-20:10
於・小野記念講堂

1

わせだ日本語サポート

- 背景　学習背景の多様化

  学習形態の複雑化

- 目的　自律的日本語学習の実現

2

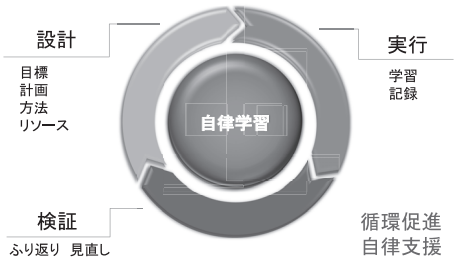
わせだ日本語サポート

取り組み

1. 日本語学習アドバイジング実践
2. 日本語学習アドバイザー育成
3. 日本語学習ポートフォリオ導入

3

1. 日本語学習アドバイジング実践



4

1. 日本語学習アドバイジング実践

アドバイジング・セッション　45分／回

個別対応

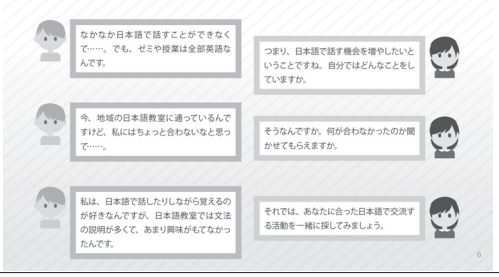
対話重視

問いかけ

5

1. 日本語学習アドバイジング実践

対応事例　「わせだ日本語サポート NEWS No.3」より



6

2. 日本語学習アドバイザー育成

- 日本語教育研究科の大学院生
- ピア・サポート　＋　上乗せ（専門性）
- 日本語学習アドバイザー研修プログラム
  - 事例検討　　勉強会
  - 研修ポートフォリオ
  - 臨時職員　→　教育補助

7

3. 日本語学習ポートフォリオ導入

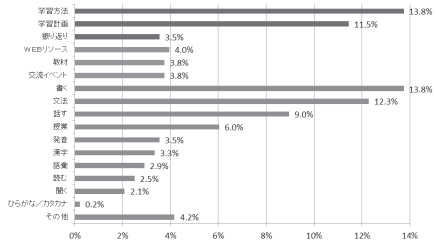
自らの日本語学習について考えるツール

8

利用状況

相談内容別

2013年度秋学期実績



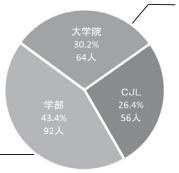
9

利用状況

所属箇所別

2013年度秋学期実績（延べ人数）

学部	人数
国際教養学部	63
教育学部	10
文化構想学部	7
政治経済学部	4
商学部	2
人間科学部	2
法学部	2
社会科学部	1
文学部	1
合　計	92



大学院	人数
法学研究科	12
政治学研究科	9
人間科学研究科	8
アジア太平洋研究科	7
経済学研究科	7
商学研究科	6
国際コミュニケーション研究科	3
国際情報通信研究科	3
ファイナンス研究科	2
文学研究科	2
日本語教育研究科	2
基幹理工学研究科	1
社会科学研究科	1
創造理工学研究科	1
合　計	64

利用者合計：212人

10

わせだ日本語サポート

まとめ

自律的日本語学習の実現
↓
自律的学習を可能にする大学環境の整備
↓
自ら考え、決め、行動できる人間の涵養

11

わせだ日本語サポート

2014年度　春学期　利用案内

毎週火・水・金曜日　12:00-17:30
早稲田キャンパス　22号館　3階
Waseda International Learning Lounge (WILL)

12